

・県庁が高層になっていたことも知らず・・・県知事、若々しく精力的に佐賀の知名度アップ等々、熱心に取り組まれておられるご様子にエールを送ります。佐賀、武雄市長様、有田町長様、嬉野市長様、公務でお忙しいところ時間をとって頂いたことに驚き、感謝です。合わせてそういう場を設定していただいた役員の皆様に感謝します。 **橋 道子**

・県知事はじめ各市町長の方々のお話を聞き、その頑張りを伺うチャンスに恵まれました。有難うございました。 **中野玲子**

・わざわざ時間を作って歓迎して下さいましたこと、有難く、その都度感動を覚えました。 **田中 實**

・まあ、偉そうに県知事、市長、町長様方と呼ばひつけて、我々大阪に居る者は如何ほど佐賀に貢献してるのでしょうか？私などせいぜい「佐賀産のきゅうりや」と買う位。しっかり稼いでふるさと納税か、佐賀牛のステーキでも食べなきゃ！

*私は高齢ですが、まだ色々仕事をしていますので40人位の方々に佐賀に行く！と言いつらしてきました。お土産を買うところがホテルの奥の方だけで・・・各予定地でお土産を買いたかったですね。

堤 伸榮

・皆さんそれぞれの立場で佐賀の為に働いておられることに感謝します。健康第一でこれからもがんばってください。 **田口智佐子**

・ハッピーを着ての知事との面談は良かったと思います。2日目はハッピーなしで目印もなく不安でしたが、他の団体と重なる事なく安心しました。 **辻井寄子**

重吉映子さんより

お便り

前略

この度、関西佐賀県人会の旅行に参加させて頂き、大変楽しい思い出を作ることが出来ましたうえに、想いでの記念アルバムまで頂き、実行委員会の皆様には本当にお世話になり、感謝いたしております。

写真アルバムが届きました時は、余りの素晴らしさにビックリいたしました。いつまでも大切にいたします。

今後の関西佐賀県人会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

草々

平成28年11月20日

「ふるさと佐賀紀行の旅」に想う

小春日和に恵まれた10月末から11月上旬。往復フェリー利用の佐賀大発見の旅(一行35名、3泊4日<船中2泊>)に参加した。当県人会主催の旅は今年で3回目。「佐賀さ行こう！」を合言葉にふるさとの歴史・文化・工芸美術・遺産をつぶさに見学、人と人との触れ合いを重視。会員相互の親睦、ふるさと佐賀との交流、関西圏での知名度向上が目的であった。目玉は、①熱気球世界選手権大会 ②日本磁器誕生・有田焼創業400年 ③世界遺産三重津海軍所跡 であった。

◎佐賀県庁、佐賀市、武雄市、有田町、嬉野市を相次ぎ訪問。山口祥義知事を初め、各市長、町長にご挨拶、各地にまつわる歴史・文化・伝統の魅力と素晴らしさについて学ぶことが叶い、その喜びと収穫は大きかった。具体的には、佐賀城本丸歴史館、バルーンミュージアム、バルーン会場、武雄温泉楼門、有田焼原点の泉山磁石場、有田異人館、深川製磁、香蘭社、陶山神社、九州陶磁文化館、柿右衛門窯、三重津海軍所跡等の名所旧跡。行く先々で会員から活発な質問が飛び交い、楽しく有意義な旅となった。

なお、当会の前会長 故貝原俊民氏(前兵庫県知事、武雄市名誉市民、2014年不慮の事故により急逝。81歳)の生誕地、武雄で市役所の幹部と親しく「交流の夕べ」を催し、故人を偲ぶことができた。

◎2年後の平成30年(2018年)は、明治維新150年に当たる。「明治、日本の近代化は肥前佐賀から始まった」といわれるように、当時の佐賀は優れた人材、進んだ科学技術、工業力、医学の面で輝いていた。ふるさと佐賀出身者としては、他府県にいても七賢人(鍋島直正・閑叟、佐野常民、島義勇、副島種臣、大木喬任、江藤新平、大隈重信)を初め錚々たる偉人や偉業に思いを馳せ、さらに歴史・文化を探求し情報発信に努めていきたいと思う。

このたびの旅に参加し改めて佐賀に生まれ、佐賀をふるさとに持つ喜びを体感出来たことは幸せなことだった。

温かく歓迎し、応対、諸々解説して頂いた佐賀の皆様にご心から感謝し、筆を擱くこととする。有難うございました。

平成28年11月18日

関西佐賀県人会常任理事 吉村照治
(第3回ふるさと佐賀紀行副団長・実行委員会)